

【一般質問】9月4日(水)、5日(木) 各日午前9時～

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
1	岡 英昭 いなべ未来 (120分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 高齢者を取り巻く環境について</p> <p>(1)旧町別の高齢化率の推移から、市が着目している点は。 (2)単身高齢者の5年推移と、市が着目している点は。 (3)高齢者の就業の機会をつくるため、出張ハローワーク、市内企業と高齢者のマッチング面接会を実施する考えは。 (4)高齢者の雇用促進に関し、シルバー人材センター、商工会、企業などと情報交換を実施しているか。 (5)家計相談、生活相談ができる環境があることを伝えていく必要があるが、民生委員、くらしサポートセンター縁、包括支援センターと市が取り組んでいることは。 (6)いなべ市では定期的に行行政書士による相談会が実施されている。市民の利用状況は。 (7)行政書士に限らず、成年後見支援センター、包括支援センターなど個別の相談会だけでなく、連携してさまざまな高齢者の悩み、相談に対応する機会はあるか。 (8)自立支援相談、生活確保給付金など、生活困窮者自立支援制度に基づき支援を行う中で、サービス利用者の高齢者、若年層の状況や、最近の当市の傾向はどのようなものか。 (9)加齢に伴い心身の機能が衰え、要介護状態に近づく「フレイル」を電気メーターの利用量の状況から人口知能(AI)で分析、感知する「eフレイルナビ」に、高齢化が進む中社会的関心が高まり、導入する自治体が増えている。高齢者支援として本市も導入を。</p> <p>2 児童生徒の健全育成</p> <p>(1)これまで慣例的に実施時期が固定化されていた学校行事、子どもを中心とした各種大会は多くあるが、最近の気候変動によって、夏季の高温化現象で行事中に体調を悪化させてしまうケースが増加している。 ①熱中症対策として、各学校行事、部活動の時間帯を見直しは。 ②市教委所管のスポーツ関係団体が実施する大会等の開催については、主催者側が酷暑の時期に大会日程を例年どおり設定し、大会を強行することのないよう、関係機関に対し、呼びかけていることはあるか。 ③各団体では、大会中、練習中も熱中症対策として、どのような取り組みを行っているか。日陰をつくるためのテントなどは貸し出せるか。 (2)部活動の地域移行について、令和6年度は1種目の移行を目指しているが進捗は。 (3)市教育総合研究所について、新体制になり、組織が目指すもの、取り組む事項などが明確になってきていると思うが、あらためて、組織の概要について説明を求める。 (4)今年から小学校教諭については、大学3年生でも受験できる制度を設けたが、いなべ市の教員採用試験の状況は。(把握できる範囲で)</p> <p>3 東海環状自動車道正式名称「いなべIC」決定へ</p> <p>ようやく「(仮称)北勢インターチェンジ」が「いなべインターチェンジ」となり、令和6年度末の開通が待たれることとなった。 インターチェンジの名称が正式に決定したことで、さらなる市の発展を期待するが、いなべインターチェンジ開通に向け、市長の所感を問う。</p>

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
2	寺輪 博樹 いなべ未来 (120分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 全国、世界で活躍する方々の応援について</p> <p>(1)これまで、市表彰要綱に基づいて表彰した中に、全国、世界での活躍を理由として表彰した市民はどれほどか。</p> <p>(2)名誉市民、市民栄誉賞等の規定及び決定機関はあるのか。</p> <p>(3)今回、パブリックビューイングが初めて開催された。実施した感想は。</p> <p>(4)全国、世界で活躍する方々に、市を挙げて応援してもらっていることがわかれば、市に対し誇りを持つことができる。また、これから様々な分野で活躍することを目標とする子どもたちにも励みになる。パブリックビューイングもさることながら、ポスター、懸垂幕など、他の自治体でも取り組んでいるようなことが速やかに実施できれば、メディアにも活用され、さまざまな効果が期待できる。</p> <p>今回のオリンピックによる盛り上がりを機に、市としてもこういった方々の応援についてマニュアル化、ルール化していく考えは。</p> <p>2 市役所の機構について</p> <p>(1)不当要求、クレイマー対応などカスタマーハラスメントと受け取れる行為が発生した場合の報告、相談などの体制と発生件数は。</p> <p>(2)不当要求、クレイマー対応などカスタマーハラスメント対策に関する研修の実施状況は。</p> <p>(3)現場で遭遇した際の対応は職員に徹底されているか。</p> <p>(4)本市においてマニュアル、条例など策定の考えは。</p>
3	出口 日佐男 新風いなべ (180分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 非常事態に備え強いいなべ市を作るために</p> <p>(1)トイレカーの購入 災害用簡易トイレの備蓄や仮設トイレをレンタルすることも大切だが、更なるトイレ対策として、清潔で明るくしかも安全な自走式のトイレカーを導入してはどうか。</p> <p>(2)小中学校の体育館にエアコンの設置を 体育館にエアコンを整備することは、教育環境の改善になることはもちろんのこと、災害時の避難所としての環境改善にもつながる。その点も勘案して、小中体育館へのエアコン設置を推進していただく考えを問う。</p> <p>2 地域クラブ活動指導員について</p> <p>今年度から、実験的に教育委員会が地域クラブ活動を管理運営し、休日の地域移行モデル事業を実施しており、今般18歳以上の市民を対象に8月23日を回答期限として意向調査を行った。そこで、次の9項目に渡り質問する。</p> <p>(1)部活動の地域移行について、全教員が賛同しているのか</p> <p>(2)回答数は</p> <p>(3)年齢構成は</p> <p>(4)回答者の男女の比率は</p> <p>(5)資格は必要か</p> <p>(6)指導員に対する報酬は(国の方針では活動費用は受益者負担となっている。)</p> <p>(7)国の方針としては、休日の部活動を学校以外の地域団体が管理運営し、地域クラブ活動として実施するとあるが、今回の意向調査では、一個人に回答を求めているが、国の方針に沿った地域移行がはたしてできるのか。</p> <p>(8)指導員＝外部指導者で無いことを確認する</p> <p>(9)スポーツ庁のホームページで、スポーツ団体や、地域のスポーツクラブ活動において指導者となる方々に対して「指導をする際に留意すべき事項について」とあり、「運動部活動用指導手引」と「運動部活動での指導のガイドライン(平成25年5月)」が示されている。今後の採用にあたっては、ここまでを求めようとしているか。</p>

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
4	多湖 公 新風いなべ (180分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 稲作農業の課題</p> <p>米不足が問題となっている中、この秋からは1俵あたりの価格も高くなるとの報道も出ている。気候や社会情勢に大きく影響される農業を守るため、以下、質問する。</p> <p>(1)海外に輸出する事業者の選定はどのように決めたのか。</p> <p>(2)米の収穫状況は、JAと情報を共有しているか。JAと情報共有、意見交換している内容は。</p> <p>(3)個人農家や営農組合から市へ耕作について、相談内容で多いものは。</p> <p>(4)現在、各地区で地域計画の策定を進めているが進捗は。また、計画策定が進まない地区はどのように対応していくのか。</p> <p>(5)今後営農組合へ委託していく個人農家が増えていくと思われるが、営農組合も人手不足で引き受けられないケースもある。市として営農組合への支援の拡充は考えられないか。</p> <p>(6)地権者の役割について、市の考えは。</p> <p>(7)米の食料安全保障は国単位でよくいわれているが、いなべ市としての考え方と取り組みは。</p> <p>2 これからの住民自治のあり方と担い手育成の課題について</p> <p>(1)自治会など住民自治体制の現状と今後について市の認識を問う。</p> <p>①市が考える住民自治の理想的なあり方を念頭に、自治会の現状と課題についてどのように考えているか。</p> <p>②今までの一般質問で「自治会のあり方について市が何らかのアドバイス等をすべき」という質問に対して、市は「自治会はあくまで市民主体の任意団体だから、市は介入しない、できない。地域の課題は地域住民が考え、対応すべき。相談があれば対応する。」という答弁であった。その考えや対応は現在も同じか。</p> <p>③地域福祉委員会の事業目的は何か。</p> <p>(2)「自分たちが暮らす地域を自分たちが創る」持続可能な住民自治体制の再構築の必要性を問う。</p> <p>①全国的に見ると、人口減少や役員の成り手不足が原因で、多数の自治会や町内会の解散がある。いなべ市で起きた場合どのような弊害が起こると予想されるか。</p> <p>②自治会と行政の関係について、見直す時期がきていると考えるが、見直しの必要性についての考えは。</p> <p>③市民が地域づくりに参画する場(機会・役割)として、市民活動センター(企画部)、地域福祉委員会(福祉部)、ボランティア連絡協議会(福祉部)、地域学校協働活動(教育委員会)がある。合理化すべきと考える。所管を超えて包括する新しい部署(担当)を設けて取り組む考えはないか。</p> <p>④急速に社会状況が変化する中、自治会等住民自治の基盤強化や担い手づくりに関して、市が何らかの政策をすべきと考えるが「市民が主役のまちづくり」を長年掲げてきた市長の所見は。</p> <p>⑤自治会要望の合理的な吸い上げなどを鑑み、地域活動のデジタル化の推進についてはどのように考えているか。</p> <p>⑥自治会等の地域コミュニティの担い手不足は全国的な課題である中、いなべ市も例外ではない。若い世代の地域の担い手育成施策の必要性についてどのように考えているか。</p>

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
5	片山 秀樹 新風いなべ (180分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 カーボンニュートラルへの取組について</p> <p>(1)市として、カーボンニュートラルへの目標、戦略的計画はどのような考えか。</p> <p>(2)市民に波及する「地球温暖化対策実行計画」なるものはあるか。行政だけでなく、市民も一体で取り組むために、市民に示すものは何か。</p> <p>(3)校舎、市役所、保育園など市が所有する建物の全てに太陽光を設置する計画か。それにより、どれくらいの電力になり、目標実現の何%となるのか。</p> <p>(4)太陽光発電事業において、火災が国内外で発生しており、消火にあたった消防士が感電死する事故も起きている。火災、震災などにより倒壊した後も発電し続けるパネルのリスクと対策は。</p> <p>(5)現在の太陽光パネルは耐久年数が20年と言われている。産業廃棄物となるパネルに対して担当である県とは、現時点で廃棄計画について協議しているのか。</p> <p>(6)太陽光発電事業は発電時にCO₂を排出しないからカーボンニュートラルに貢献できるわけだが、その発電力(発電量)は非常に少なく、パネルを製造する際にCO₂が大量に発生する。製造から電力生産までを考えた太陽光発電事業となっているか。</p> <p>(7)グリーン水素は太陽光などのエネルギーを水素に転換する2次エネルギーなのでCO₂は発生しない。市は、このようなエネルギー開発を支援していくということによいか。また、グリーン水素エネルギーの数値的な目標は。</p> <p>(8)自然電力いなべ株式会社について、市が資本金を20%(200万円)とした理由は。</p> <p>(9)自然電力いなべ株式会社の役員は2人、社員は1人、資本金1,000万円(その内いなべ市が200万円出資)であり、代表取締役は地域活性化企業人制度を活用している。この会社を選択した理由は。</p> <p>(10)自然電力いなべ株式会社の収益の柱、方法と今後の従業員採用計画は。</p> <p>(11)自然電力いなべ株式会社が目指す目標はどのようなものか。市内電力のどの程度を担おうとしているのか。</p> <p>2 一般社団法人元気クラブいなべの活動実績について</p> <p>(1)活動の成果として、医療費抑制効果とある。令和2年度から令和4年度の65歳以上の国民健康保険・後期高齢者医療制度の総医療費と元気クラブ参加者の関係を調査されているが、どのような方法で数値を出したのか。</p> <p>(2)補助金は市の単独費用と、他にどのような補助金を活用しているのか。</p> <p>(3)現在の補助金に占める人件費についてどのように認識し、補助金額を決定しているのか。スタッフの技能、資格など付加価値としているものは。</p> <p>(4)3月議会で市長は、いなべ市の後期高齢者医療の医療費は三重県一高い、国民健康保険の医療費は県内4位としている。元気クラブいなべの事業がいなべ市全域で始まった当初から、当市の医療費が高い状況にあることは議会でも何度も取り上げられてきているが、事業によって改善されていないということではないか。所見を問う。</p> <p>3 いなべ市の人口問題と結婚、出産、子育て支援との関係について</p> <p>(1)子育て支援施策は、少子化や若年層の移住(企業の異動を除く)に効果があると考えているか。</p> <p>(2)いなべ市の若年層の女性の人口推移から、都市部への流出(転出)は増えているか。推移は。</p> <p>(3)いなべ市はトヨタグループなど製造業が多い。こういった企業に就職された女性を大切に、増やしていくことが解決策の一つと考えるが所見は。</p>

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
6	伊藤 三保 新生つばさ (120分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 もっと子育てしやすいまちへ</p> <p>(1)「第3期いなべ市子ども・子育て支援事業計画」策定の進捗状況は。</p> <p>(2)病児保育事業について</p> <p>①現在、広域対応支援事業で対応しており、「はなまる保育所」と「こどもケアハウスぞうさん」の2カ所を利用することができる。しかし、どちらも桑名市内にあり、本市市内に勤務される保護者には不便である。過去に一般質問で取り上げられた経緯を鑑み、その後の状況は。</p> <p>②いなべ市で専用施設の整備、看護師および保育士の確保は困難であるが、打開策を考えようとしているか。</p> <p>③本市のファミリーサポートセンター事業に委託して、訪問型病児保育を行うことはできないか。</p> <p>④「子ども・子育て支援事業計画」における病児保育の見込みと実績の差はどのような理由によるものと考えられるか。</p> <p>(3)放課後の子どもの居場所については様々なサービスがあり行き届いているが、早朝の子どもの居場所が必要と考える。共働きが当たり前の世の中で、必要な取組だと考えるが、見解は。</p> <p>2 カスタマーハラスメントから行政職員を守るために</p> <p>(1)行政職員に対するカスハラについて</p> <p>①被害の実態は。</p> <p>②具体的にどのように対処したのか。</p> <p>③カスハラを受けた職員が安心して相談できるサポートシステムはあるのか。</p> <p>(2)研修会の実施は。またその研修会の対象者は。</p> <p>(3)具体的な予防策、対策を検討する委員会などの設置の考えは。</p> <p>(4)カスハラについての周知啓発が必要であると考えますが、どのように行っているか。ポスターを企業向けに作成し、事業所内や店頭に掲示してカスハラの抑止に役立っているなどの取組を行う考えは。また、その際、小・中学生に公募をしてポスターを描いてもらうのはどうか。</p> <p>(5)中小・小規模事業者を念頭に公的な相談窓口を設け、官民連携して支援することも効果的だと考えるが、相談窓口の設置は。</p> <p>(6)教育現場においても、保護者から教職員に対するカスハラがあるのではないかと考えるが、実態と具体的な対策はどのようにしているのか。</p> <p>(7)どのような場合がカスハラにあたるのか、判断基準をはっきりさせるためにマニュアルやガイドライン、条例の制定が必要と考えるが、見解は。</p> <p>3 特殊詐欺被害から市民を守るために</p> <p>いなべ署管内のいなべ市、東員町の被害状況は、R4年は0件であったものの、R5年7件(還付金詐欺 5件 架空請求詐欺 2件)被害額840万円、R6年7月現在5件(オレオレ詐欺 1件、架空請求詐欺 2件、キャッシュカード詐欺盗 2件)400万円である。特殊詐欺は減少するどころか増加している。</p> <p>(1)高齢者が日常生活で接点を有するあらゆる機関・団体・事業者と連携した注意喚起および広報啓発を推進する取組は。</p> <p>(2)いなべ署では、自動通話録音警告機の無料貸し出しの台数が数十台増えており、昨年に比べると多くの方が効果を試せることになった。購入費用の半額を助成していただきたいと考えるが、執行部の考えは。</p>

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
7	渡辺 一弘 新生つばさ (120分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 市内施設の設備充実を</p> <p>(1)子どもたちがスポーツ大会で使用する体育館に、熱中症アラート対策のためにも冷房設備が必要である。これまでに市で検討したことはあるか。経緯と現状について説明を求める。</p> <p>(2)宇賀溪キャンプ場でのネーミングライツ料の進捗は。</p> <p>(3)市内施設の設備の充実や維持管理費の財政確保のため、ネーミングライツの導入について調査研究をしたことがあるか。検討したことがある場合は、結論に至った経緯などの説明を求める。</p> <p>(4)年間を通じ来場者数が見込め、知名度もある施設は、企業が宣伝に活用できる市の貴重な財産と考える。本市でも実施に向けてのニーズ把握や費用の相場観の確認を目的に企業に対してアンケートを実施してはどうか。</p> <p>2 市職員の処遇改善を</p> <p>(1)「いなべ市の保育園に関しては国の基準以上に加配を行っている」ということであるが、現場では保育士は足りないという声を聴く。特に未滿時の受け入れが多くなってきており、保育士に対する負担が重くなってきている現状は、4月からの新規保育士が効わったことで解消されたか。</p> <p>(2)6月議会での一般質問で、全園で正規担任配置ができたかの質問の答弁で、全園クラス数に合わせて正規で配置との答弁であった。未滿時クラスも含め正規職員で配置されているか。</p> <p>(3)土曜保育の希望が多いことも保育士に対する負担が重くなってきている。土曜保育の保育士への負担の現状をどのように把握しているか。</p> <p>(4)保育士不足を会計年度任用職員の力を借りて運営しているが、会計年度任用職員の声も正規職員と同じく声が届くようになってきているか。</p> <p>(5)直近の正規職員と会計年度任用職員の比率は。バランスとして適切と考えているか。</p> <p>(6)「いなべ市人材育成基本方針」が令和3年4月に改訂された。主にどういったところが改定され、改定されたことにより何が改善されたか。</p> <p>(7)「いなべ市人材育成基本方針」には、職員が目指すべき職員像、期待される行動、求められる意識、意欲、役割及び能力を「求められる人材像」として明確に記載されている。遂行されるため、工夫していることは。市の特徴的な取組は。</p> <p>(8)市役所では様々な職種の職員が働いており、それぞれの専門性を活かすために、コミュニケーションを取って協力しながら仕事を進める姿勢が職員に求められることから、SPI3などの採用試験の導入を実施している自治体もある。SPI3などの採用試験に関してはどう考えているか。また、いなべ市の応募状況と採用状況は。</p> <p>(9)各部署に職員の適正な配置がされているか。</p> <p>(10)「いなべ市定員適正化計画」が令和6年度で満了となる。次期計画に向け、公務員のなり手不足がクローズアップされる中、5年間を振り返りどういった改定を加えていくのか。</p> <p>3 南海トラフ巨大地震臨時情報発令について</p> <p>(1)発令後から解除まで本市での体制は。</p> <p>(2)本市が推奨している各家庭での日常備蓄期間の1週間を経過しても物資が届かない場合の想定はしているか。</p>

次ページへ続く

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
8	<p>小寺 徹翁</p> <p>創風会 (135分)</p> <p>※質問制限時間 は1人60分</p>	<p>1 東林寺白滝について</p> <p>(1)東林寺及び東林寺白滝は、文化財としてどのような位置づけか。</p> <p>(2)サイクルツーリズム、バイクツーリズムなどの観光資源として、市はどのように認識しているか。</p> <p>(3)グリーン・ツーリズム推進事業において、誘客を図るためのプラン造成計画があるが、その中で東林寺及び東林寺白滝は組み込まれる予定か。</p> <p>(4)来訪者の安全確保として、東林寺及び周辺の地盤調査、橋梁耐震診断などを実施する考えは。</p> <p>2 災害時の孤立集落対策について</p> <p>(1)発災後、孤立予想地域における備蓄庫の配置状況は。</p> <p>(2)孤立予想地域の傷病者の搬送及び物資輸送手段は準備されているか。</p> <p>(3)県に届け出ている場外離着陸場（ヘリポート）はどの程度か。また、現場保全はなされているか。</p>
9	<p>伊藤 智子</p> <p>創風会 (135分)</p> <p>※質問制限時間 は1人60分</p>	<p>1 いなべ市の農業の今</p> <p>(1)耕作面積の推移は。(5年)</p> <p>(2)担い手（認定農業者）の推移は。(5年)</p> <p>(3)新規就農者の状況は。(過去5年)</p> <p>(4)学校給食における地場産物使用について、拡充されたものは。</p> <p>(5)給食食材納入指定業者に地元生産者が参入出来るように、次回は2024年11月に募集すると言うことであったが、準備は進んでいるか。</p> <p>(6)水田農業の土地利用型農業が主であるため地域の中心となる農業経営の育成及びこれらの経営体への農用地の利用集積による経営規模拡大と併せて、農作業受託による実質的な作業単位の拡大を促進する(2022、12月議会)とされてきたが、生産量の改善はされてきたか。</p> <p>(7)「三重県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」に基づく環境負荷低減の活動に取り組む農業者の受付が始まったが、市内農業者の申請、認定件数は。</p> <p>(8)地域計画策定の進捗は。</p> <p>(9)「有機農業実施計画」の策定から始まるオーガニックビレッジ(有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村のこと)の創出について、他市町の先進事例を参考に、計画の策定に向けた進捗は。</p> <p>(10)いなべ市では、オーガニック給食への道のりをどのような計画で進めようとしているのか。</p> <p>(11)地域活性化起業人を活用して、有機農業や循環型農業の指導、市民に研修会等を行ってはどうか。</p>
10	<p>清水 隆弘</p> <p>創風会 (135分)</p> <p>※質問制限時間 は1人60分</p>	<p>1 カスタマーハラスメント（悪質なクレーム）対策の推進について</p> <p>(1)市役所内での現状について</p> <p>①市職員に対するカスタマーハラスメントの実態及び調査をしたことはあるか。</p> <p>②カスタマーハラスメントによる被害は。また、被害の多い部署や傾向は。</p> <p>③カスタマーハラスメントを未然に防ぐ取組は。</p> <p>④カスタマーハラスメントと見られる行為があった場合の対応は。</p> <p>⑤市職員が「心の病」になる前に毅然とした対応が必要と考えるが、メンタルヘルスマネジメント等の対応は。</p> <p>⑥過度な要求に毅然と対応し、市職員を守るため警察等外部の関係機関と連携していることは。</p> <p>⑦市不当要求等防止対策要綱に基づく市不当要求行為等防止対策委員会が設置されたことはあるか。あればその経緯経風の詳細は。</p> <p>⑧カスタマーハラスメントを未然に防ぐために、検討している新たな対策は。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ続く</p>

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
10	清水 隆弘 創風会 (135分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>(2)事業所等へのカスタマーハラスメント対策の周知について 改正労働施策総合推進法により、令和2年6月よりパワハラ防止措置を講じることが事業主に義務付けられている。</p> <p>①市が事業所等へ啓発する必要性を認識しているか。 ②事業所等へのカスタマーハラスメント対策の周知はどのようにしているか。 ③厚労省が作成しているポスターやリーフなど活用してはどうか。</p> <p>2 小中学校の暑さ対策について</p> <p>(1)小中学校の児童・生徒の持参する水筒の中身については水、麦茶、スポーツドリンク等あるが、市内小中学校での状況は。 (2)小学校での指定水着及びプール授業について ①今夏のプール授業での各小学校の指定水着の詳細は。 ②ラッシュガードの使用（許可）基準は。 ③男女共用水着（ジェンダーレス水着）の使用（許可）基準は。 ④屋外プールで授業を実施している小学校の実施可否基準及び日焼け対策は。 (3)水筒の中身、指定水着について教育委員会としての統一見解はあるのか。 あるいは各学校長の管理で運用しているのか。</p>
11	岡 恒和 日本共産党 いなべ市議団 (90分) ※質問制限時間 は1人60分	<p>1 公立小中学校における「働き方改革」について問う</p> <p>令和6年6月議会において、教育現場の多忙化・長時間労働の改善に関し、教育長と議論した。その中で確認されたのは、①根本的な解決には教職員定数増が必要であること ②中学校においては部活動指導時間が大きな比重を占めること ③その他業務の適正化 などであったと認識している。今回は②、③に関し質問する。</p> <p>(1)中学校部活動に関し ①休日における部活動の地域移行を行う目的、目標をどのように考えているか。 ②中学校全体のクラブ数とクラブに関わる教員（顧問）、特別指導員の状況は。 ③市教委が構想するいなべ市のクラブ活動は、平日の部活動は学校教員及び市が委嘱した部活動指導員が行う。休日の部活動およびクラブ活動は、部活動指導員、また「いなべクラブ剣道等」として地域移行するという考えと思うが、「新たな地域クラブ活動」及び「いなべ市地域クラブ活動」との違いは。 ④令和5年12月実施の生徒アンケートでは、「地域クラブ活動」への参加意向が3分の1程度となっている。この結果をどう考えているか。 ⑤児童生徒の発達成長にかなう部活動はどうあるべきか。そのために児童生徒が望む部活動を把握することは重要と考えるがどうか。 ⑥令和4年の「ガイドライン」では「文化芸術分野など生徒の志向等に適したプログラム」、「市区町村が運営団体となる体制」などが記載されている。前議会でも提起したがたとえば温水プールや郷土資料館、藤原岳自然科学館など市の資源の活用を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2)その他業務の適正化に関し ①教職員の出退勤管理に関し、パソコンのログにより行うよう提起したが、検討結果は。 ②その他、教育委員会として現在取り組んでいることは。</p> <p>2 人事院(人事委員会)勧告の実施について</p> <p>人事院は、令和6年8月8日、国家公務員一般職の月給を平均2.76%（1万1183円）、期末勤勉手当を0.1カ月分それぞれ引き上げる勧告を行った。昨年12月議会では会計年度任用職員（パートタイム）に関し、総務省の通達も引き、給与改定（報酬額の改定）を行うべきと質したが、昨年度引上げを行わなかった。</p> <p>(1)三重県の人事委員会勧告が出された場合は、今年度の改定分と昨年度分を含め、通達に準じて改定を行うべきと考えるがどうか。 (2)期末勤勉手当等支給率に関しても、乖離がさらに大きくなった。改善する考えは。</p>

順番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質問項目
12	<p>衣笠 民子</p> <p>日本共産党 いなべ市議団 (90分) ※質問制限時間 は1人60分</p>	<p>1 健康保険証廃止でどうなる 令和6年12月2日に現行の健康保険証を廃止することが明らかにされている。 (1)マイナンバーカード取得者の最新の人数、うちマイナンバーカードに健康保険証利用登録をしている人数は。 (2)国民健康保険加入者のうちマイナンバーカードに健康保険証利用登録をしている人数は。またその割合は。 (3)今年度の国民健康保険証に従来との違いはあるか。 (4)来年度、マイナ保険証を持たない人への対応は。 (5)すべての医療機関でオンラインでの資格確認ができるのか。 (6)システムトラブルなどでマイナ保険証で資格が確認できない場合の対応は。 (7)これまでの健康保険証は、国民健康保険なら毎年手続きなしで市役所から1年間の保険証が送られてきた。ほかの健康保険では職場や住所が変わらない限り更新は不要だった。マイナ保険証は5年ごとに更新が必要とされているが、どのような手続きか。 (8)マイナンバーカード取得はポイントが付くことで一気に普及が進められた。その際、健康保険証利用登録で追加ポイントがあり、認識が十分でないまま登録した人や登録したが利用登録をやめたい人もいることを聞く。利用登録解除が令和6年10月から開始されるとの報道があるが、どうなっているか。</p> <p>2 個を大切に社会へ (1)「同和問題」に関して、旧大安町で合併前平成15年7月13日に完了祭を実施し、終結宣言を行った。20年を経て、「同和問題」の取組、現状の評価は。 (2)女性の負担軽減のために生理用品をトイレトペーパーのようにトイレに設置を。 ①中学校女子トイレに生理用品が置かれるようになった。「自分で用意するのが基本。困ったときに利用をと」指導されているのか。 ②トイレトペーパーのように置くための費用は確保できるか。 ③トイレトペーパーと同じように、必要な人が必要な時に遠慮なく使えることは人権と言えるのではないか。人権福祉課の考えは。</p>
13	<p>西井 真理子 (45分)</p>	<p>1 グリーン・ツーリズム事業について (1)平成27年度から実施したグリーン・ツーリズムで、地域の課題として捉えた以下の事項はどの程度解消されたのか。 ①人口減少、若年層の都市部への流出 ②担い手不足による地域の衰退 ③空き家・未利用施設の増加 ④高齢化や獣害による耕作放棄地の増加 (2)グリーン・ツーリズムの取組から10年が経過しようとしている現在、モデル地区の状況をどのように把握しているのか。 ①居住者人口の増減と高齢化率 ②地域が抱える課題 ③獣害の状況 (3)平成27年度から令和元年度に実施したグリーン・ツーリズムの実績報告書の「総論」に、移住者が現れ、自治組織の維持に繋がったと記載があるが、具体的にどのような状況を指しているか。 (4)移住を促進するのであれば、移住・定住のための空き家、土地が必要ではないか。モデル地区でどの程度確保できると考えているか。 (5)令和6年6月から始まったグリーン・ツーリズム推進事業で行う企業や学校をターゲットにした体験プランと、中間層をターゲットにしたツアープランは、誰がどのように造成していくのか。プランの構想は。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ続く</p>

順 番	質問者 会派名 (会派の持ち時間)	質 問 項 目
13	西井 真理子 (45分)	<p>(6)農業公園へ来られる方々と地域の方がふれあうと説明があったが、具体的にどのようなことをしようとしているのか。</p> <p>(7)令和6年度から取り組むグリーン・ツーリズム推進事業では、地域ごとの計画を立てるのか。</p> <p>(8)前回の報告書では、モデル地区に指定されたどの地区も「推進委員の高齢化」を上げている。グリーン・ツーリズムは「地域住民が主体」になることが大前提であるが、今回、主体的に活動する住民はどのような状況か。</p> <p>2 新型コロナワクチンの安全性について</p> <p>(1)これまでの新型コロナワクチン接種による副反応や健康被害について国は状況の把握を行うために調査し報告を始めた。市として市内の状況の把握は行っているか。また詳細は。</p> <p>(2)10月から再度、国の新型コロナワクチン定期接種が始まるがワクチンの安全性や副反応について、市のホームページなどで市民へ情報提供を行うべきであると考えているがどうか。</p>